

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	ヒューマンライツメッセージなると開催事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課		
総合計画体系			根拠法令計画など	人権教育および人権啓発の推進に関する法律		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり	事業期間	開始	平成	18年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると			終期	未定
(小項目)	人権					
施策	1	人権の尊重				
基本事業	1	人権行政の推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	小・中・高・大学生による人権作文発表と人権問題講演会をとおして、一人ひとりが人権に関する正しい理解と認識を深め、人権尊重のまちづくりを推進する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		参加人数	110	130	130	130	130	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	第1部で小・中・高・大学生が日頃の人権学習により培った感性を通し、学校や家庭など様々な場面で思ったことを素直な言葉で発表した。第2部では「人の世に熱と光を！」と題して西光寺住職 清原隆宣さんを講師に迎え、人権問題に関する講演会を実施した。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 アンケートに回答数	87	76	110	110	110	枚
	2 アンケート調査に参加いただき、内容について理解できた・ほぼ理解できたと答えた構成比	90.8	93.4	100	100	100	%
成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標	参加人数	126	148	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)	113.8		—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	232	164	210	210	210	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	232	164	210	210		210
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		1,108	1,303	1,303	1,303	1,303	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.17	0.2	0.2	0.2	0.2		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		1,340	1,467	1,513	1,513	1,513	千円	

【事務事業名:ヒューマンライツメッセージなると開催事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	市民一人ひとりが人権に関する正しい理解と認識を深め、人権尊重のまちづくりを推進するため、人権作文の発表や作品展及び講師を招いての講演会を開催するため準備を進めている。平成26年度は「あいぼーと徳島」人権問題講師 渡邊貞代さんを講師にお招きし、人権問題講演会を開催する予定であり、多くの市民に参加いただけるよう、啓発に努める。
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	市民一人ひとりが人権に関する正しい理解と認識を深め、人権尊重のまちづくりを推進するため開催する。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 <span style="background-color: #e0e0e0;">人権の尊重</span> の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	市民から好評を得ている事業であり、今後も市民、教育関係者の意見を参考に、より一層取り組む。
		<input checked="" type="checkbox"/>	① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	学生による人権作文発表や、講師を招いて人権問題講演会を開催している。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	市内の児童生徒が学校や家庭など様々な場面で感じたことを率直な言葉で発表する場となっている。課題として、平日開催であるが子ども達の思いを聞くことができる機会であることから、保護者や他の児童生徒の参加を促す周知広報を強化していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				